

# 令和7年度第2回秋田県バリアフリー社会形成審議会 議事録（要旨）

## 1 日 時

令和8年3月19日（木）午前10時から午前11時まで

## 2 場 所

秋田市中心市民サービスセンター

## 3 出席者

### （1）委員（50音順、敬称略）

浅野 雅彦	秋田県商工会議所連合会 事務局長
小野崎一哉	公益財団法人 秋田県老人クラブ連合会 会長
門脇 隆幸	秋田県中央交通 株式会社 営業部次長
須田 眞史	公立大学法人 秋田県立大学システム科学技術学部 建築環境システム学科 教授
星野 昇平	特定非営利活動法人 セカンドライフステージりんどう 理事長
安田 大樹	社会福祉法人 秋田県社会福祉協議会 総務企画部副部長
山下 浩司	秋田市都市整備部 部長

※13名中7名出席

### （参考）欠席委員（50音順、敬称略）

植田 雅人	秋田県小学校長会 秋田市立牛島小学校 校長
小野地紀子	一般社団法人 秋田建築士会女性委員会 委員
工藤 康憲	一般社団法人 秋田県ハイヤー協会 副会長
小森 一昭	公益社団法人 全国脊髄損傷者連合会秋田県支部 支部長
下河 良	株式会社秋田温泉さとみ 代表取締役社長
菅原 香織	特定非営利活動法人 秋田バリアフリーネットワーク 理事長

## (2) 県庁各課

広報広聴課、交通政策課、地域・家庭福祉課、雇用労働政策課、建築政策課、都市計画課、道路課、建築住宅課、教育庁（総務課施設整備室、特別支援教育課）、警察本部（警務課、交通企画課、交通規制課）

## (3) 事務局

健康福祉部長、障害福祉課長、障害福祉課員

## 4 開会、課長あいさつ

## 5 議 事（◆：委員の意見、質疑等 ◇：事務局及び県庁各課からの回答等）

### (1) 令和7年度バリアフリー関連事業について

#### ①第4次基本計画の数値目標の実績値について

#### ◆浅野委員

「まち」の分野について資料を見ると、「既存の施設に対するバリアフリー化に向けた改修が進んでいないため達成率が伸びていない」とあるが、なぜ進んでいないのか、また支援策はあるのか。

#### ◇事務局

新築の公共施設等はバリアフリーに適合しているものが多いが、既存施設は利用者が減少し、今後の施設の方向性が定まらない中で、多額の費用をかけて改修することに各自治体が積極的に進められていないのが実情である。対策として、市民の利用が多い窓口を1階に集約するなどの対応を行っている。

#### ◆浅野委員

「バリアフリー適合証」について、「不要とする事業主もおり交付件数が伸びない要因」となっているが、今後の予測と、伸ばすための考えはあるのか。

#### ◇事務局

事業者が適合証を取得するメリットを感じづらく、名誉や評価につながるといった意識の浸透が進んでいないことが背景にある。県としては、適合証を取得して優れた取り組みを行っている施設を「バリアフリー推進賞」の対象として表彰し、取得が社会的評価を受ける要因になるという意識を広げ、事業者のモチベーション向上を図っていく。

#### ◆安田委員

障害者雇用の達成率が良い数値で推移しているが、助成金以外にどのような取り組みが要因として考えられるか。

#### ◇雇用労働政策課

職場実習の促進事業により、障害者の職場体験の機会を設けていることが一つある。また、法定雇用率が現在の2.5%から今年の7月に2.7%へ引き上げられる予定であり、事業所が雇用をより進めていることも要因と推測している。

(1) 令和7年度バリアフリー関連事業について

②令和7年度バリアフリー関連事業の概要、③令和8年度新規事業について

◆星野委員

今年の大雪で歩道が歩けない場所が多々あったが、地域住民が家の前の雪を寄せるような「共助の心」を推進する手立てはあるか。

◇事務局

担当課が欠席のため、後日確認の上、回答する。道路課では対応等行っているか。

◇道路課

車道と歩道の除排雪を並行して進める必要があるが、優先的に通学路を行っている。富山県では交差点にスコップを置き、地域住民の力を借りるような取り組み行っていると聞いたことがあり、参考にしたいと考えている。

◆浅野委員

「交通安全母の会」という名称は他県でも使われているか。

◇事務局

担当課が欠席のため、後日確認の上、回答する。

◆浅野委員

栗田支援学校の長寿命化改修後、目標として何年持つ計画か。

◇教育庁総務課施設整備室

栗田支援学校については改修後、概ね20年程度を目標としている。

◆浅野委員

自主防犯意識が立ち上がらない現状に対し、今後の具体的な推進策はあるか。

◇警察本部生活安全企画課

地域安全ネットワークを通じ情報発信・共有を行っているが、現時点で具体的な推進の手立てはできておらず、今後さらに防犯意識を持ってもらえるよう推進したいと考えている。

◆浅野委員

「ウェブアクセシビリティ検証」とは具体的に何をするのか。

◇広報広聴課

目の不自由な方が使う読み上げソフト等に対応した情報発信の仕方を県庁各所属に周知し発信していく。

◆安田委員

「障害者の労働参加促進事業」の合同就職面接会について、参加者46名のうち障害者は何名か、参加事業所数はどれくらいか、マッチングにつながった件数は何件か教えてほしい。

◇雇用労働政策課

担当者が欠席のため、後日確認の上、回答する。

(2) 令和7年度秋田県バリアフリー推進賞について

(質問・意見なし)

(3) バリアフリー社会の形成に関する基本計画(第5次計画)(案)について

◆山下委員:

パブリックコメントの結果を教えてください。

◇事務局

県民からの意見はなかったが、秋田県障害者施策推進審議会において当事者団体から「知的障害を持つ方は意思決定をするのが難しいため、支援が大切」との意見があり、新規施策として意思決定の支援に向けた研修を追加した。

◆星野委員

ヤングケアラー等の実態把握に関するまとまった資料はあるのか、またLINE相談窓口の利用数はどのくらいあったか教えてください。

◇地域家庭福祉課

資料や相談件数については、確認の上、後日回答する。現状、LINE相談の実績は低いため、来年度は直接話せる場を設ける等、市町村と連携して適切な支援へ導けるような取り組みを行う予定である。

◆安田委員

路線バスの廃止が進む中、高齢者等の交通弱者に対する今後の移動支援の展望や強化策を教えてください。

◇事務局

担当者が欠席のため、後日確認の上、回答する。交通政策課では移動弱者に対する施策等を行っているか。

◇交通政策課

路線バスの縮小地域において自治体が乗合タクシー等のコミュニティ交通を進める事例が増えており、今後もこのようなきめ細やかな取り組みを引き続き支援していく。

◆須田委員

「中心市街地の整備」と「都市のコンパクト化・活性化に向けた取り組み」の具体的な内容を教えてほしい。

◇都市計画課

中心市街地は秋田市においては駅周辺部分を指し、整備内容としては街路整備や区画整理事業を考えている。都市のコンパクト化の具体的内容については、別の担当になるため後日回答する。

◆山下委員

秋田市におけるコンパクトシティ施策は秋田駅前だけでなく、各地域で複数の機能を充実させ、生活の利便性を維持することを目的として取り組んでいる。

6 閉会